

女夫石遺跡発掘調査速報

No.34

墨書土器（ぼくしょどき）が発掘されました！小さな破片だけどくっきり文字が書かれています。字の全体像は把握できませんが、「巾」・「出」・「山」といった漢字のように見えます。担当者には「巾」に見えるのですが……。字の全体像が分かるように、細かい破片も見逃さないように調査を手伝ってくださっている皆さんにお願いしてあるから、きっと見つかるでしょう？！今回は「巾」ということにして、この文字は一体何を示すのか？漢字の意味から大胆に予測してみましょう！あくまでも担当者の思い込みと思ってもらって結構ですが……。でも、地域のことを知るきっかけにはなるでしょ！



巾

この字は、「はば」だよ。でも「帆」・「布」・「帯」・「綿」の一部にも「巾」があるよね！「巾」は「きれ」とも読むんだよ。織物と関係する漢字なのです！

この文字は何と書かれているように見えますか？

「巾」・「市」・「山」・「布」・「出」それともこれら以外かな？欠けている部分の破片が発見されれば正確に読むことができるかもね！



沢リ：豎穴住居跡を発掘していたら、文字が書いてある土器のかけらが出てきたんだってさ！

マキ：何て書いてあるのかな？

沢リ：小さいからちゃんと読めないけど、「巾」・「出」・「山」みたいな漢字の一部に見えるんだってさ。ところで「巾」ってどんな意味があるんだろうね？

マキ：「巾」は「布」とか「帯」とかの漢字の一部だよ。きっと布とかの織物（おりもの）に関係するんじゃないかな？

沢リ：それじゃあ、この豎穴住居に住んでいた人は、機織り（はたおり）でもしていたのかな？

マキ：そんな単純じゃないと思うけどね！でも、県内の遺跡（中央市玉穂）で機織り機の一部が発見されたこともあるから、可能性は否定できないね。それに倭文神社（しずりじんじや）も気になるね。機織りの神様の天羽槌命（あめのはづちのみこと）と天棚機織命（あめのたなはたこめのみこと）がまつられているんだよね。

沢リ：まだまだ、検討しなくちゃいけないけど、本当に女夫石遺跡の墨書土器と倭文神社が関係したら面白いよね！まずは、文字の解釈が先みたいだね！（つづく）



宮久保の穂坂小学校のすぐ近くにある倭文神社です。白い鳥居（とりい）をくぐって、随神門（ずじんもん）を通ると拜殿（はいでん）があります。その奥に本殿（ほんでん）があって、その周りには石棒や石柱が置いてあります。

ちなみに柳平にも倭文神社があって、里宮（さとみや）と山宮（やまみや）の関係であったみたいです。

倭文神社は延喜式神名帳（えんぎしきじんみょうちょう）という延長5年（927年）にまとめられた全国の官社の一つです。全国に14ヶ所程度の倭文神社が存在します。

